

公害への怒りを行進に 反省を求められた母親大会



公害工場の間を縫ってデモ

去月五日のこ 受けました。と、大牟田市内 不知火小学校で、第十四回大牟田市母親大会が開かれました。大会には約五百名の母さん方が集い、「生命を生まる母は、生命を育て、生命を守ることをぞとします」のスローガンのもと、命と健康を守る運動について意志統一しました。

まず来賓の方(川口六平さんと堺のえさん)による、物産高、教育、公害などの問題にふれた講話、生まれ出ている子どもたちの知能を完全に関与させることができない社会をつくるために努力していただきたい、とのあいさつを添加物が三百四十品目あり、外国

内職の仕事を終り、わが家の玄関に入る。北原さんは言葉もどかし「西村さんご主人が大変なことに……」と、後言葉が続きなかった。私はあわてていった。「どげんしたつね？」

「坑内で落盤があつて、なぐりなされたんだよ」

「ええッ、そんな」

「いつの間にか、私達は西村さんの家に向かつて走り出してた。走らなかつたら、奥さんの顔が目に浮かぶ。矢張り早やに、あとかたから、いろんなこと

故西村さんに誓う

宮内分會 萱原栄子

たが、奥さんと娘さんは「そんなことより、父ちゃんの命を返して欲しい」とつめよられることもあった。私はその姿を見て、もしも自分の夫がこんな目か。保たせようとしていた。西村さんは、こんなにも悲しいお姿にならずにすんだのに。くやしくて、くやしくてならなかった。

翌日の大牟田市民会館で営まれた葬式で、沿道で、抗議ストをうってかけつけた組合員や、内職を放り出してやってきた主婦

大世帯の林間学校

小中学童など110名も



三池主婦会がとりくむ運動の一 つとして、過去四年間夏季児童対象に実施してきた。三池の園を理解して下さる学生さんや三池組員、主婦会員の協力のおかげで、そのほんの一部分ではありましたが、夏休み期間の十日・十五日間、居住ブロックごとの勉強会と生活指導を続けてきました。

ところが年ごとに児童数が減り、ブロック編成の困難が考えられ、その結果今年はそれに変わるものとして、林間学校を計画したのでした。

林間学校は去月十九・二十の両日、大牟田市の上内小学校の分校だったところで開校しました。こじんまりした校庭と校舎。そこに地域の人やニュースカーはた



どうすればいい この海底の汚れ

フグとガネとタコの対話

これは、ガネ 補償交渉で、オカに あがつるんじゃない。導部第七分會 フグ 今日このごろになつてから、騒ぐなんてね。私達は汚染されたといわれていたところから、汚染されていったんですよ。外、ガネ 汚れていくようになって住みにくくなりました。フグ ボラやコシロさん なんか遊ばされてますけど、みんな同じ有明海に住んでるんですから同じですよ。ガネ 人間とものなかには「食わなければいけません」といって、私達は汚染されてますから、私達は汚染されなければいけません。これ、ハサミもこんなに汚れていって

弔辞

もぐら・さんぺい

めけめけと殺人犯が弔辞読むしほるツカサ殺すツカサが読む弔辞「自主保安」ぐるみ傷つき殺される

フグ 私ものところ、ふくれっぱなしですよ。(そこへ、タコが足早やにやってきました)ガネ どうしたんですか、赤くなつて。タコ どうもこうも、なかです。頭の曲つていたボラさんが、泳げずにどうしようなくなりまして。フグ ええッ、どうしようダメでしたか。このところ、ふてきましたね。ガネ どうにかならんのですか。このままなら、私達は全滅ですよ。

タコ 水銀とか、カドミウムとか、たれ流しに流しよる三井の化学工場は止めんと、どうにもならんたい。フグ 私たちも漁師の皆さんといっしょに、デモしたくなりますよ。ガネ そげんしても、この汚れはもういけません。タコ だから、そこが問題なんです。人間をばいめ私たちが生き残るためには、三井をばいめ地方自治体、国がですね、一致して前向きで解決の努力をしないと行かないです。フグ そういっても、腰が重いですからね。尻をたたくものがおらんと、逃げてしましますからね。

熱気溢れるわらび座の舞台

わらび座がやってくる

久しぶりに、民族歌舞団のわらび座の舞台が見られそうです。きたる二十七日午後六時三十分から、大牟田市市民会館ホールで開演。

▼第一部 民族舞踊集「黒潮のうた」▼第二部 歌芝居「勘定女房」▼第三部 歌舞組曲「ベ

